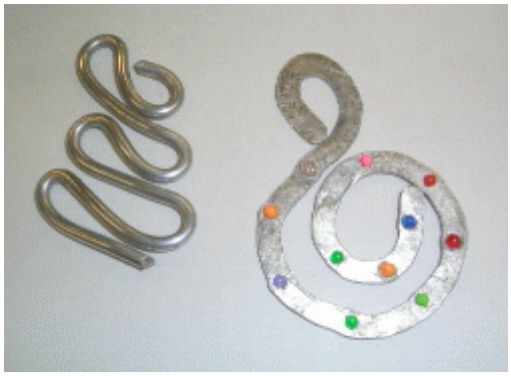
きらきらアルミのペンダントを作ろう（生活科）

◆ものづくりのねらい



- oアルミなどの金属はたたくと延びる、という性質を利用してペンダントを作る。
- o鉄のくぎで凹（へこ）みをつけることで、金属の種類によって硬さが違うことに気づく。
- oペンチ、かなづちなどの道具がうまく使えるようになる。
- o凹みにビーズや石英のつけ方を工夫することができる。

◆準備物

【材料】アルミ線（太さ３mmくらい）、ビーズ、校庭で拾った石英。カラー水糸。
【道具】かなづち、金床、ラジオペンチ、ハサミ、四寸くぎ、ピンセット、
手芸用ボンド（ビーズ用）、軍手、紙やすり

◆作ってみよう！・・・きらきらアルミのペンダント（6年生へのプレゼントに）

① アルミの針金を３０センチぐらい、ラジオペンチで切る。
② ペンチで、好きな形に曲げる。３mmぐらいの太さになると、子供の力ではなかなか曲げにくいので、ペンチで線の端をはさんで、もう一方の手で曲げるとよい。
③ 金床の上において、金づちでトントンたたいて、薄くたたき延ばす。
（指をたかないように気をつけさせる。）
④ ビーズを付けたいところに、くぎを使って凹みをつける。（くぎの先は少し丸めておく）針金の中心を打たないと、凹みが外に飛び出してしまうので注意。
⑤ 作ったへこみに手芸用ボンドをたらし、ピンセットを使ってビーズを入れる。
⑥ ボンドが固まったら、ひもを通してペンダントのできあがり。

◆アルミ線をたたき延ばすと、金床などのさびの汚れが付着することもあるので、延ばした後に紙やすりでみがいてから、次の作業に移らせてもよい。金属光沢をやや意識させるねらいもある。